

令和4年度自己評価及び学校関係者評価書

1 本年度の学校評価をふりかえって

秋商キャリア教育をもとに、日々の授業を大切に、ビジネス実践や外部講師などを活用して、社会人基礎力を身に付けさせ、主体的に物事を考えさせる取り組みをしている。

教職員は、一人一人が高い意識を持ち、学校全体として組織的な教育活動に取り組んでいる。今後も商業高校の教育の特色を活かし、秋田県商業教育の中心校としてその役割を果たすために、保護者アンケートを参考にした自己評価及び学校関係者の意見に基づいて学校の発展に努めていきたい。

2 評価結果の概要

分野	評価項目	取り組み状況と成果・課題	評価	改善策	学校関係者評価の意見
本年度の目標	・キャリア教育構造図の具体的実践と改善。	・学力向上と資格取得に向けた積極的な取り組みを推進する。	A	・各コースの特色を生かした高度な資格取得やコースの柱となる資格を設定し、取り組む。	・地域との連携を深めてもらいたい。 校則が厳しいという保護者の意見もあるが、社会に出たときのことを考えると、高校時代のある程度の厳しさは必要ではないか。
教育課程 ・学習指導	・主体的・対話的で深い学びの実践の推進と基礎学力の定着を図りつつ、学力の向上を目指す。 ・学習指導要領改訂の基本的な考え方を踏まえた新教育課程の編成に取り組む。	・授業内でのICTの活用は広がりを見せているが、生徒の主体的活動や探究的活動に発展させるために、さらなる研究が必要である。 ・新しい評価方式については、各教科に案を示し、改善しながら運用することができた。	A	・生徒の学力向上につながるICTの活用方法についての研究を継続する。	・進学希望者が増えているようであるが、働くことの大切さも授業内で教えてもらいたい。
進路指導	・進路意識の早期確立と学年進行に応じた継続的な指導を行う。	・「進路の手引き」をただ配布するだけではなく、各学年で講習会を実施し、今やるべきことの意識付けを行った。	A	・3年間の進路指導の流れを生徒や保護者に示すことで、早期に進路目標を設定させ、意識の向上を図る。	
生徒指導	・礼儀・規律・公共心と自己有用感の育成に努めるとともに、問題行動や事故の未然防止を図る。	・定期的な生徒指導だよりの発行と交通安全教室、SNS犯罪防止教室等を実施し、生活の中で発生する様々な問題について考えさせることができた。	A	・全ての事故に対する初期対応を迅速にかつ丁寧に行うとともに、啓蒙活動を継続する。	
保健	・校内の安全・美化に努め、生徒を取り巻く環境を整える。	・全職員の指導のもと、教室環境は適切に維持されている。	A	・区域の状況に適した清掃用具を購入し、校内の美化に努める。	
教育相談	・生徒の健全育成に努め、心身の諸問題の解決を積極的に支援する。	・スクールカウンセラーの来校予定を周知し、カウンセリングが有効と思われる生徒には相談を勧めた。	A	・保健日誌を活用し、悩みを抱えた生徒を把握し当該クラスや学年部と情報を共有する。	
特別活動	・全校生徒参加による自主的・創造的生徒会活動を支援する。	・コロナ対策のため行事の進め方など、多くの場面で予定変更を余儀なくされる場面が多かった。	B	・部活動を活性化し、生徒が活躍できる場面を数多く作る。	
図書	・情報センターとしての図書館利用を活性化する。	・アンケートをふまえて、生徒の進路に係る図書を購入し、随時特設コーナーを設けた。	A	・「図書館だより」やクラス文庫を充実させることにより、生徒に読書への興味をもたせる。	
家庭地域	・学校情報の広報活動をHPやメールを活用し、活発化する。	・緊急メールやHPなどで、保護者に対する情報提供を速やかに行った。	B	地域との連携を深めるために「秋商だより」を発行し、地域社会に情報を発信する。	